

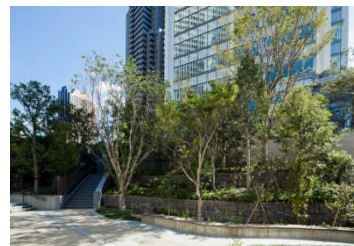
報道関係者各位

2014年2月13日  
森ビル株式会社

## 生物多様性に配慮した施設評価「いきもの共生事業所®認証(都市・SC版)」 「アークヒルズ サウスタワー」などが取得

森ビル株式会社が管理運営する「アークヒルズ サウスタワー」及び「六本木ヒルズ クロスポイント」が、生物多様性の保全に資する土地利用や管理への取り組みを評価する認証「いきもの共生事業所®認証(ABINC認証)[都市・SC版)」を取得しました。

本認証は、生物多様性の認知度向上を目指し、企業活動における自然と人との共生を促進する「いきもの共生事業所®ガイドライン」(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)制定)に準拠した取り組みを、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)が第三者的評価の上、認証するもので、今回の認証が1回目となります。



写真：(左) アークヒルズ サウスタワー屋上、(右上) 同外溝部、(右下) 六本木ヒルズ クロスポイント屋上

当社は、2008年に、国連生物多様性条約(CBD)第9回締約国会議(COP9)にて「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」リーダーシップ宣言に署名しました。その後、2009年には、アークヒルズ 仙石山森タワーが、生物多様性の保全や回復に資する取り組みを定量評価する認証「JHEP 認証」で、日本初となる最高ランク(AAA)を取得、また、本年開業する虎ノ門ヒルズにおいても同認証最高ランク(AAA)を取得しています。

森ビルは、これからも生物多様性を保全し、緑豊かで地球環境にやさしい好環境都市の形成に貢献する街づくりを進めていきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

森ビル株式会社 広報室 渡邊  
TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

## ■「いきもの共生事業所®認証(ABINC 認証)」の概要

主催：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

認証基準：都市部に位置する、ビル・ショッピングセンターなどの企業、団体について、一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(J B I B)の「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」土地利用通信簿®【都市・SC版】に基づき、以下の項目について、持続可能な土地利用を評価・認証する。

- 生物多様性に貢献する環境づくり
- 生物多様性に配慮した維持管理
- ステークホルダーとのコミュニケーション
- 地域の希少種の保全への取り組み

## ■一般社団法人いきもの共生事業推進協議会の概要

名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名：Association for Business Initiative in harmony with Nature and Community = 略称 ABINC(エイビック)]

設立：2013年12月25日

目的：「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生するしくみを「創像」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」することを目的として設立。

連絡先：info@abinc.or.jp

ホームページ：http://www.abinc.or.jp/

## ■物件概要

### アークヒルズ サウスタワー

所在地 東京都港区六本木一丁目 4-5  
敷地面積 5,846m<sup>2</sup>  
延床面積 55,033m<sup>2</sup>  
用途 事務所、店舗、駐車場  
階数 地上 20 階 / 地下 3 階、塔屋 1 階  
着工 2011 年 4 月  
竣工 2013 年 9 月 4 日  
構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋  
コンクリート造、鉄骨造 +  
コンクリート充填鋼管構造  
設計 森ビル(株)一級建築士事務所  
(株)入江三宅設計事務所(建築)  
(株)建築設備設計研究所(電気・設備)

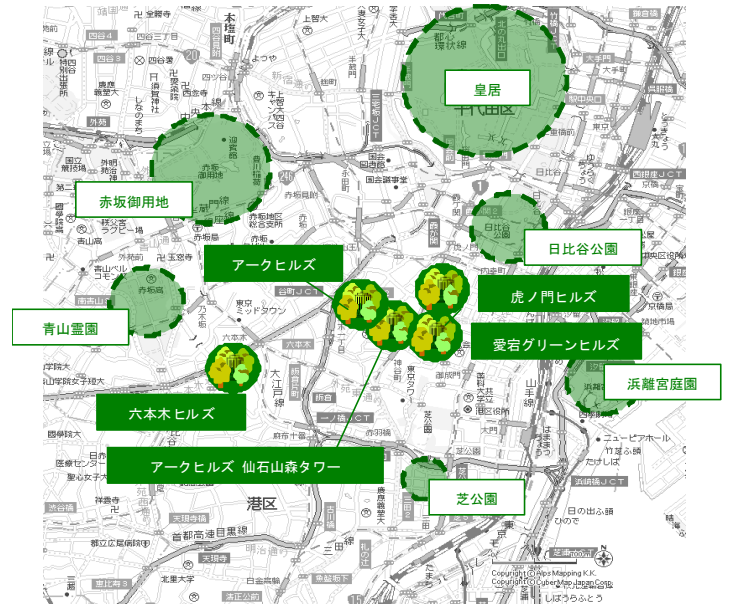
### 六本木ヒルズ クロスポイント

所在地 東京都港区六本木 6-3-1  
敷地面積 1,003m<sup>2</sup>  
延床面積 7,579m<sup>2</sup>  
用途 事務所、店舗、住宅、他  
階数 地上 10 階 / 地下 1 階  
着工 2009 年 9 月  
竣工 2011 年 3 月  
構造 鉄骨造 + CFT 造、鉄骨鉄筋  
コンクリート造(地下)  
設計 森ビル(株)一級建築士事務所(監修)  
(株)入江三宅設計事務所(建築・構造)  
(株)森村設計(機械・電気)

## 森ビルの生物多様性に関する取り組み

### ■森ビルのエコロジカルネットワーク

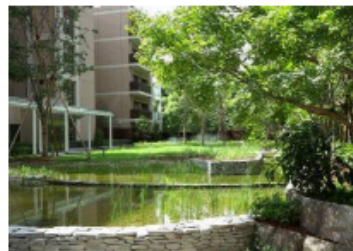
当社は、「Vertical Garden City—立体的な庭園都市」というコンセプトのもと、建物を高層化することによって生まれたオープンスペースや建物の屋上を可能な限り緑化することで、緑豊かで地球環境にも優しい都市環境の創造に努めています。また、アークヒルズをはじめ、港区の当社事業地を拠点に、都市域におけるエコロジカルネットワークを構築し、生物多様性に配慮した街のモデルづくりを推進しています。



(例)アークヒルズ 仙石山森タワー 2012年竣工

#### ■生物多様性の取り組み

1. 在来種・潜在自然植生をベースとした緑地:計画地の地域植生を再生する  
(主な在来種:スダジイ、タブノキ、アラカシ、エゴノキ、ヤマボウシ ほか)
2. まとまりのある緑地:緑化効果を高め周囲と結ぶ
3. 緑被ボリュームの高い立体的な緑地:生きものの住みやすさに貢献する
4. 特殊な環境要素:枯れ木・樹洞・落ち葉といった環境要素への配慮



#### こげらの庭

ビオトープを配した「居住者に身近な憩いの場」です。小鳥や昆虫のすみかを考えて、あえて枯れ木を設置しました。

#### 仙石山プラザ

正面玄関となる複合棟の足元には、メタセコイアやくすのきなどの既存樹木を生かした緑の空間を配置しました。



#### 大げやき広場

大きなげやきのシンボルツリーを植え、芝生の広場は、季節のイベントなどに利用されるにぎやかな場所になります。